

# 国土交通省説明資料

---

令和3年4月1日

○首里城復元のための関係閣僚会議で決定された「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、首里城正殿について、令和4年中の本体工事着工、令和8年までの復元に向けた取組を進める。その際、復元過程の公開や観光振興など地元のニーズに対応した施策を推進する。

## 首里城火災の状況

木造で復元を行った正殿を含む、計9施設が焼損（一部焼損含む）



火災直後



現在の首里城の様子 (R3.3撮影)

## 首里城復元のための関係閣僚会議

首里城正殿等の復元のための計画策定等に向け、関係行政機関の緊密な連携の下、政府一体となって対応するため、首里城復元のための関係閣僚会議を開催。

第4回会議（令和2年3月27日）において「首里城正殿等の復元に向けた工程表」を決定。

### 首里城正殿等の復元に向けた工程表（抜粋）

首里城正殿について、令和2年度（2020年度）早期に設計に入り、令和4年（2022年）中には本体工事に着工し、令和8年（2026）年までに復元することを目指すこととし、北殿や南殿等を含め復元に向けた取組を進めることとする。その際、復元過程の公開や観光振興など地元のニーズに対応した施策を推進する。

## 首里城の復元に向けた取組

### 技術検討委員会における検討

- ・沖縄総合事務局に設置した技術検討委員会において、正殿の復元に向け、防火対策、材料調達等を検討。



◀正殿遺構の保護処置



◀正殿地下遺構等の一般公開

### 復元過程の公開の取組

- ・令和2年6月12日から、首里城正殿地下遺構等の一般公開を開始する等、復元工事の様子を公開



◀大龍柱補修作業の公開



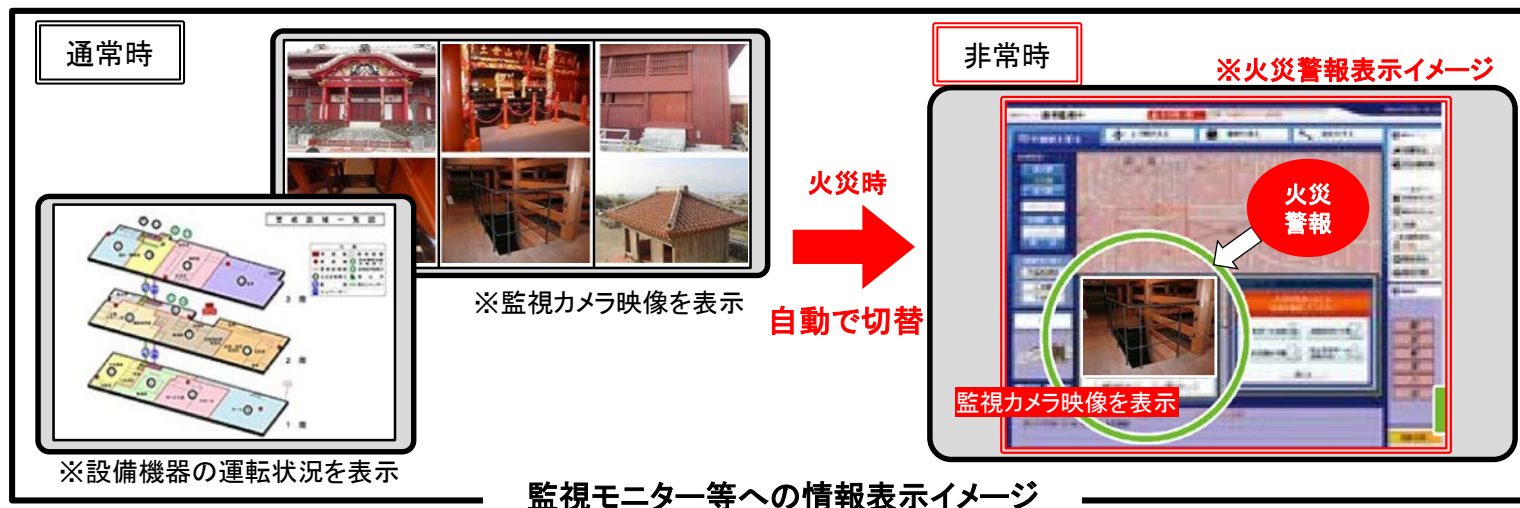
◀工専用仮設道路の設置

# 技術的な検討(防火対策①)

- 「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、文化庁の「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」を踏まえ、**最先端の設備を含む最適な防災・防火設備を取り入れた「首里城正殿の防火対策」**を技術検討委員会において決定。
- 今後、県とも引き続き連携し、具体的な防災・防火設備内容について検討。

## 【首里城正殿の主な防火対策】

火災の 未然防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漏電遮断器、感震ブレーカー、絶縁監視装置等</li> </ul>
火災の 早期発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煙感知器等の作動箇所が特定できる火災報知受信機</li> <li>・ 火災感知器と連動し、自動旋回して火災を映す監視カメラ</li> <li>・ 火災情報及び映像を監視モニター等へ自動表示するシステム</li> <li>・ 消防機関へ自動的に通報する装置等</li> </ul>

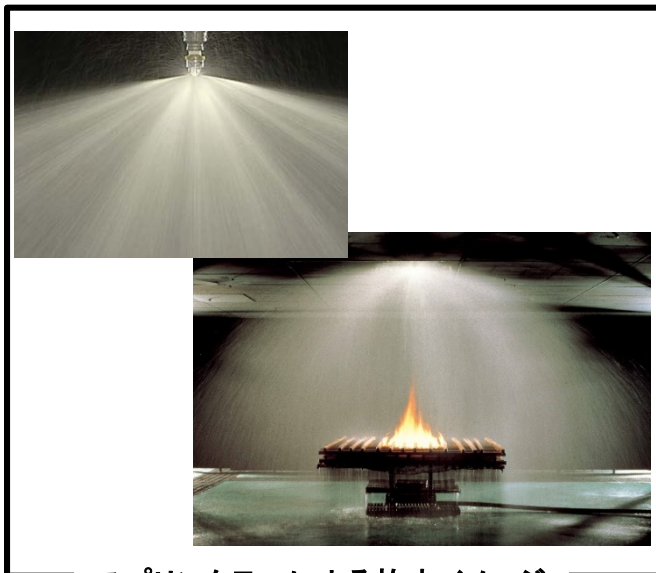


# 技術的な検討(防火対策②)

## 【首里城正殿の主な防火対策(続き)】

<p>迅速な 初期消火</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤作動防止機能付のスプリンクラー</li> <li>・ 一人でも操作可能な易操作性の屋内消火栓等</li> </ul>
<p>消防隊による 消火活動の容易化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火用の水を城郭内に送る連結送水管と放水口</li> <li>・ 自動火災報知設備と連動して自動解錠する門扉等</li> </ul>
<p>消火水源の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消火水槽(初期消火用)及び防火水槽(消防活動用)を増設</li> <li>・ 私設消火栓の新設等</li> </ul>

○ 連結送水管の導入や水槽の増設等に当たっては、地下遺構の保護に配慮

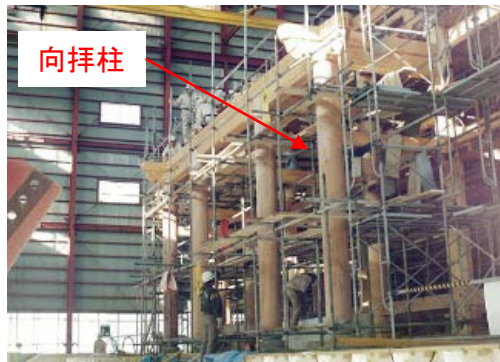


スプリンクラーによる放水イメージ



連結送水管から放水までのイメージ

- 「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき樹種の特性及び調達可能性を踏まえるとともに、琉球王朝時代も本土から木材を調達していた歴史的経緯も鑑み、**構造材(大径材)**については原則として**国産ヒノキ**(*Chamaecyparis obtusa*)を技術検討委員会において選定
- 往時の首里城に使用されていたと推定されている**イヌマキ(チャーギ)**及び**オキナワウラジロガシ**について、前回復元を踏襲し、技術検討委員会において**構造材(大径材)**の一部(向拝柱、**小屋丸太梁**)に選定



正殿 向拝柱【前回復元時】  
(イヌマキ)



正殿 小屋丸太梁【前回復元時】  
(オキナワウラジロガシ)



正殿の外壁塗替え(H30年度)

- 赤瓦については、関係機関との連携により、材料調査を実施。今後、沖縄県内の製造業者による試作を実施。
- その他、石彫刻等の彫刻類や、塗装等の材料・仕様については、前回復元後の新たな知見も検証し、具体的な内容を検討。

# 【参考】首里城正殿等の復元に向けたスケジュール

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 (大径材)		<u>市場調査</u>					令和2年3月27日 「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(抜粋)		
	設計		<u>基本設計</u>							
	木材調達 (大径材)			<u>調達・乾燥</u>						
	工事		<u>仮設道路</u> <u>がれき撤去</u>		<u>木材倉庫</u>		<u>発注手続(WTO)</u>		<u>本体工事</u>	
北殿、南殿等		<u>撤去</u>	<u>正殿復元の施工ヤードとして使用</u>							
			<u>検討</u>						<u>工事</u>	